



2025 年 3 月
法政大学教育開発支援機構
教育開発・学習支援センター

生成 AI ツールの利用に関する学生対象調査の実施結果について

1 調査概要

(1) 目的

ChatGPT を始めとした生成 AI ツールが手軽に利用できる状況になっているなか、学生の生成 AI ツールに対する考えや利用状況を把握することで、今後の教育改善や学習支援に活かすことを目的とする。

(2) 調査期間

2024 年 12 月 10 日（火）～2025 年 1 月 31 日（金）

(3) 調査対象

全学部生（通学課程）・大学院生

(4) 調査方法

法政大学アンケートシステム（Web）で実施

2 回答状況

1,382 人（回答者数）/30,885 人（対象者数） 回答率：4.5%

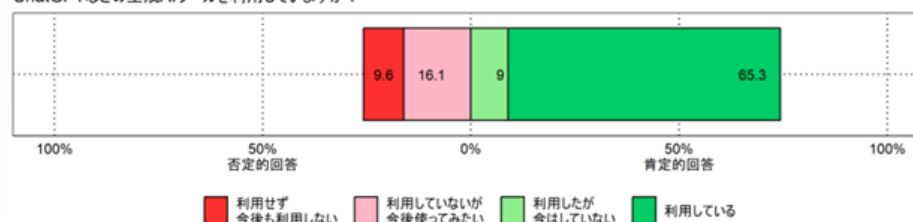
回答者の構成比

	回答者数	構成比
1年生	428	31.0%
2年生	406	29.4%
3年生	238	17.2%
4年生	192	13.9%
研究科	118	8.5%
合計	1382	100.0%

	回答者数	構成比
学部（人文社会系）	934	67.6%
学部（理工系）	330	23.9%
研究科（人文社会系）	91	6.6%
研究科（理工系）	27	2.0%
合計	1382	100.0%

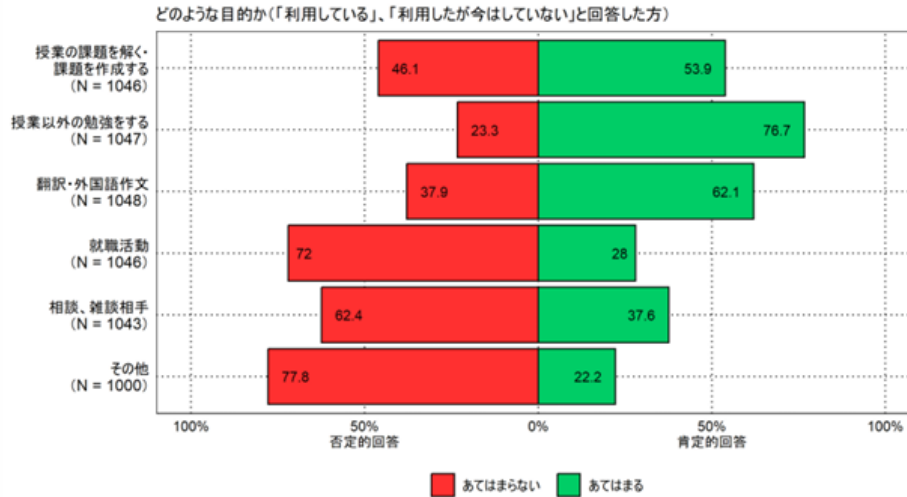
回答の基礎集計①

ChatGPTなどの生成AIツールを利用していますか？

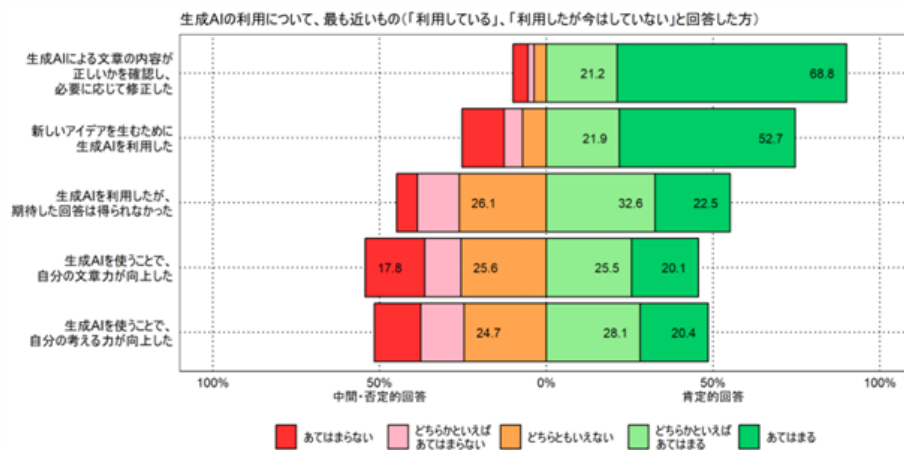


- ・ 利用した経験があるのは、74.3%（肯定的回答）
「利用したが今はしていない」は、9.0%

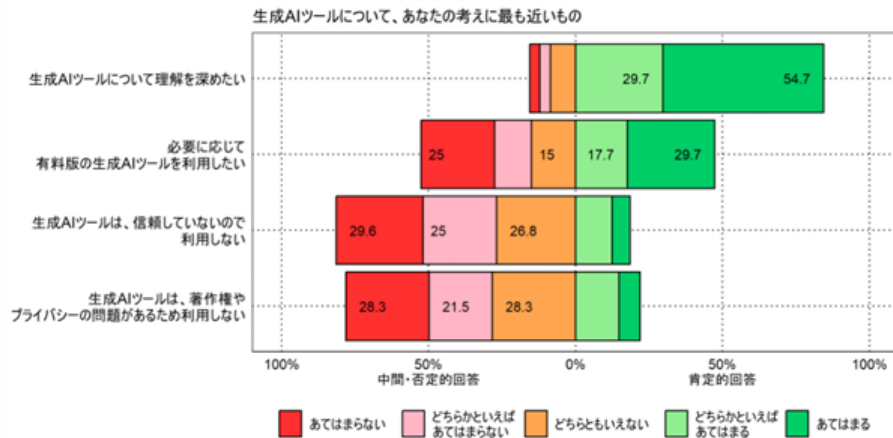
回答の基礎集計②



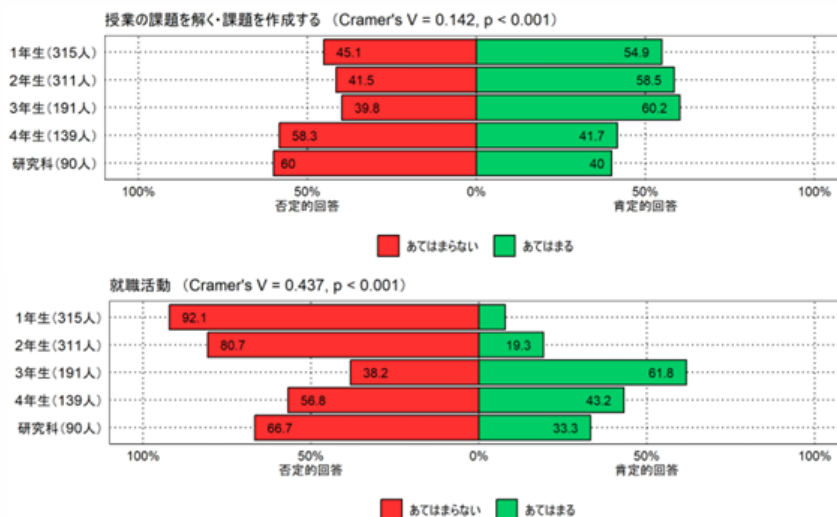
回答の基礎集計③



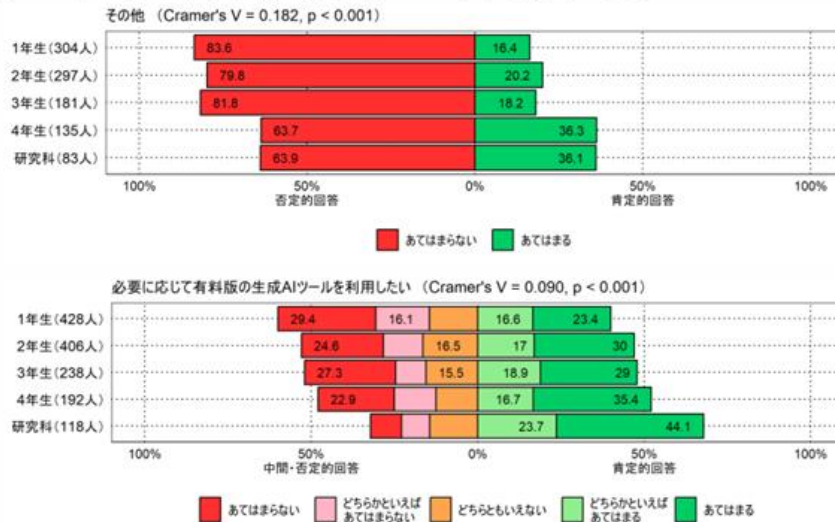
回答の基礎集計④



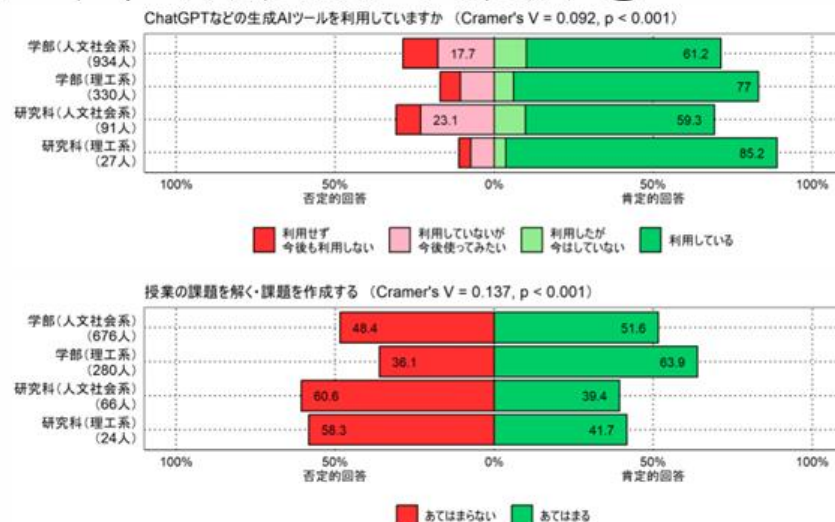
学年、所属別の集計①



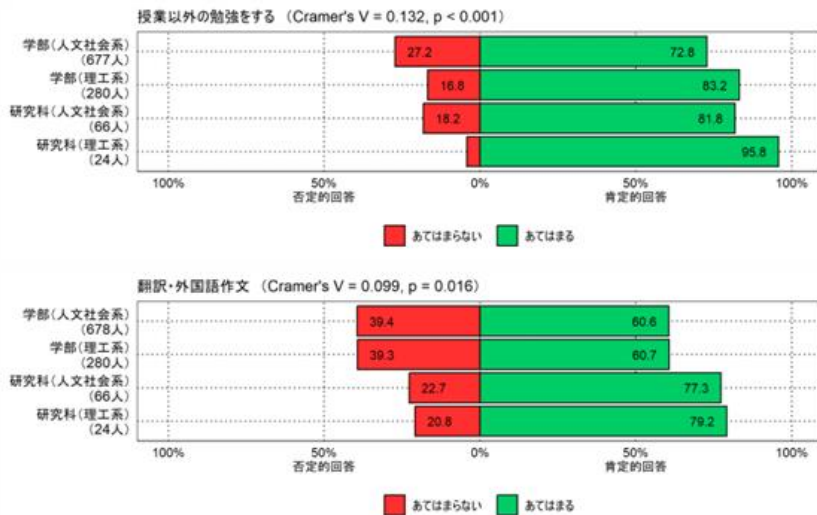
学年、所属別の集計②



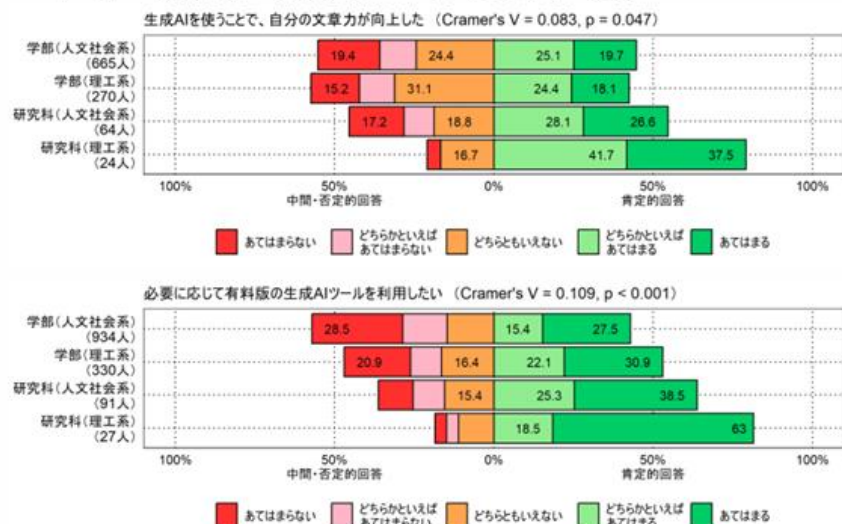
学年、所属別の集計③



学年、所属別の集計④



学年、所属別の集計⑤



教員の集計との比較①

(ChatGPTなど) 生成AIツールを利用していますか (Cramer's V = 0.152, $p < 0.001$)

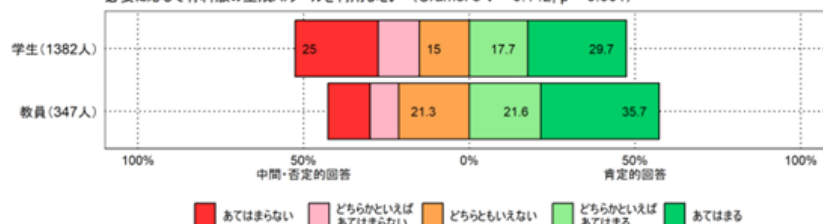


生成AIツールについて理解を深めたい (Cramer's V = 0.037, $p = 0.673$)

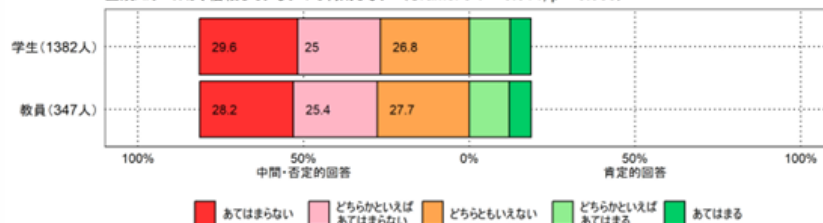


教員の集計との比較②

必要に応じて有料版の生成AIツールを利用したい (Cramer's V = 0.142, $p < 0.001$)



生成AIツールは、信頼していないので利用しない (Cramer's V = 0.014, $p = 0.986$)



集計の要約①

- ・ 生成AIを利用した経験があるのは、74.3%
- ・ 利用目的で最も多かったのは「授業以外の勉強をする」の76.7%となった
- ・ 「生成AIによる文章の内容が正しいかを確認し、必要に応じて修正した」の肯定的回答は、90.0%である
- ・ 「生成AIツールについて理解を深めたい」の肯定的回答は84.4%となった

集計の要約②

- ・ 「授業の課題を解く・課題を作成する」目的は、4年生や研究科よりも1～3年生の方が多かった
- ・ 「就職活動」目的は、3年生の61.8%があてはまる
- ・ 学部や研究科を問わず、理工系は生成AIツールを利用した経験が人文社会系よりも多かった
- ・ 学部よりも研究科、人文社会系よりも理工系において、「必要に応じて有料版の生成AIツールを利用したい」の肯定的回答が多かった

集計の要約③

- ・ 自由記述では、課題や研究、メールなど文章表現の確認、日常的な検索から趣味やアイデア出しなどが挙げられる
- ・ 生成AIの利用経験は、教員よりも学生の方が多かった
- ・ 「必要に応じて有料版の生成AIツールを利用したい」において、学生よりも教員の方が肯定的回答は多い
- ・ 「生成AIツールについて理解を深めたい」や「生成AIツールは、信頼していないので利用しない」という考えは、学生と教員の間で差があるとは言えなかった